

2023年度 東京純心女子中学校入学試験 適性検査型Ⅱ 解答用紙(その1)

適性Ⅱ	受験 番号		氏名	
-----	----------	--	----	--

※のらんには何も記入しないこと。

1

※

〔問題1〕

先手が「1」と言えば、後手は「2」または「2, 3」または「2, 3, 4」のいずれかしか言えない。後手がどれを言った場合にも、先手が「5」で止めることができるから。

※

〔問題2〕

後手が必ず勝てる3けたの整数 101

〔理由〕

101から1を引いた100から4ずつ減らしていった整数を求めていくと、一番小さい1以上の整数は「4」である。勝つためには4を言えばよいが、先手は最初に「3」までしか言うことができないので、後手が必ず「4」で止めることができ、後手が必ず勝つことができる。

※

〔問題3〕

(1) ア 2 イ 5 ウ 6 エ 2 オ 3 カ 4

(2) 「678」と「438」はどちらも一の位が8で、8の位置が変わっていないのに、「678」が「1ヒット0ブロー」、「438」が「0ヒット1ブロー」とヒットの数が変わっているから。

(3) 624

※

2023年度 東京純心女子中学校入学試験 適性検査型Ⅱ 解答用紙(その2)

適性Ⅱ	受験 番号		氏名	
-----	----------	--	----	--

※のらんには何も記入しないこと。

2 (模範解答例)

※

〔問題1〕

④ と ⑤ (完答)

※

〔問題2〕

バングラデシュの製造業の作業員の給料が、もっとも安いから。

※

〔問題3〕

彼女たちは、地方の貧しい家庭の出身で、十分な学校教育を受けることができなかった。学校を終えたあと、家計を助けるために仕事を求めてダッカに移り住み、縫製工場で働くようになった。縫製工場での仕事は、一日中ミシンをふみ続けるなど長くきびしいものだが、給料はとても安い。彼女たちは若くして結婚して夫や子供の生活を支え、また地方の家族らに送金している。このように、安い給料で家族を支える彼女たちの生活は、とても苦しそうである。

※

〔問題4〕

服を買うときに、その服がどこで、どのような人たちによってつくられたものなのか、関心を持ち、知ろうとすることが大切だと思う。本や、服を生産したアパレル企業のホームページなどを調べて、現地の縫製工場で働く人たちに、きちんとした給料や休みを保障しているのか、チェックすることもしてみたい。また、こうした問題について学んだことや知ったことを、まわりの人と話したり、文化祭で発表したりするなどして、発信し、共有することができると思う。

※

2023年度 東京純心女子中学校入学試験 適性検査型Ⅱ 解答用紙(その3)

適性Ⅱ	受験 番号		氏名	
-----	----------	--	----	--

※のらんには何も記入しないこと。

3

※

〔問題 1〕

(1) 〔選んだもの〕 ウ

〔理由〕

実験 2 の結果で、冷蔵庫で保管したパンは室温で保管したパンと比べて、カビが生え始めた日が遅いことから、成長速度も遅いことがわかる。図 3 の結果で、27℃よりも温度が高い 33℃の方がカビの大きさが小さいことから、温度が高すぎるとカビの成長が遅くなることからわかるため。

(2) 〔ちがい〕

冷蔵庫で保管したパンに生えたカビは、室温で保管したパンに生えたカビよりも、色が薄く、大きくなるのに時間がかかった。

〔理由〕

色が薄く、大きくなるのに時間がかかった理由は、胞子が増えず、数が少なかったから。

※

〔問題 2〕

水をふきかけないで観察した結果から、カビは水分が少ないと生えないことがわかる。水をふきかける回数を 6 回（5 回）、にした結果から、カビは水分が多くても生えにくい。カビを生えやすくするために、適した水をふきかける回数は、3 回だということがわかった。

※